



第1回 健康まつり 体験イベントで健康を楽しく学ぶ

2月4日、あじさい館で「健康まつり」を開催。本市は、昨年3月に「健康まちづくり宣言」を提唱していることから、市民の皆さんが健康を意識するきっかけにと、「がんについて考えよう」をテーマに開催したものです。会場では、タレントで子宮がん治療の経験がある原千晶さんの講演をはじめ、さまざまな検査や健康体操のできるコーナー、食育の観点から健康を考えるコーナー、子どもが看護師や薬剤師体験ができるキッズコーナーなど、30種類の体験イベントを実施。多くの来場者たちが、体験を通じ楽しみながら健康について学びました。

いがん経験のあるタレント原千晶さんによる公演には、たくさんの聴衆が集まりました。白衣に着替えて薬剤師体験。お母さんになってどんな感じ？ みんなで楽しくヨガ体験。



いばらきっ子郷土検定県大会 しみながら郷土を学ぶ ~45校が熱戦~

2月3日、県民文化センターで「いばらきっ子郷土検定県大会」が開催。中学2年生を対象に、各市町村代表校が茨城の郷土に関する問題をクイズ形式で競い合いました。本市代表として参戦した千代田中は、準決勝を目前に惜しくも僅差で敗退。リーダーの宮本春香さんは「結果は悔しいが、皆とここまでできてよかった」と話してくれました。



↑市内大会を勝ち抜き、本市代表として出場した千代田中の生徒

おもちゃ交換会 用なおもちゃ 誰かにとっては宝物

2月17日、さくら保育所で「おもちゃ交換会」が開催されました。子育て世代を支援する「市民子育て支援員」のPR事業として、未就学児を対象に行われたものです。会場には多くの親子が来場し、集まったおもちゃを前にうれしそうな子どもたちの笑顔が広がりました。開催にあたりおもちゃを寄付してくれた大勢の皆さまには、お礼を申し上げます。



↑たくさんのおもちゃを寄付していただきました

↓霞ヶ浦中地区公民館美並支館役員22人が参加し、防災意識を高めました



大雨の災害 その時どうする？

1月28日、あじさい館で「経験することのない大雨その時どうする？」と題した防災イベントが実施されました。茨城県が本市と水戸地方気象台、県防災士会、日本気象予報士会と連携し、県内で初めて開催。台風接近に伴い状況ごと取るべき行動を5班に分かれて話し合い、最後は班ごとに、考えた避難行動の発表を行いました。

第41回全国消防職員意見発表茨城県大会 防業務の意識高揚を図る

2月8日、小美玉市で開催された全国消防職員意見発表茨城県大会に中山喬仁消防士長が出場し、優秀賞を受賞。「いざという時PUSH!PUSH!」と題し、災害発生時に「テレビのdボタン」を押すと、「症状から救急車を呼ぶか判定できる機能」や「応急手当の動画が見れる機能」の追加を提案。4月開催の関東大会に出場することになりました。



↑優秀賞を受賞した中山喬仁消防士長(消防本部予防課)

今月のスマイル



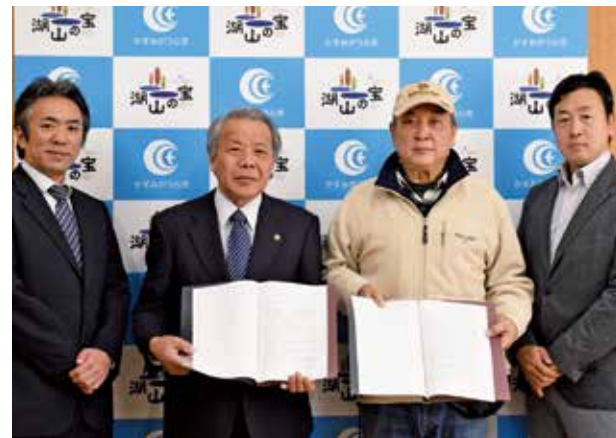
↓大井川知事、坪井市長と記念撮影をする高瀬霞山さん(左)



茨城県市長会自治功労者表彰 を通じて地域コミュニティの醸成に尽力

2月9日、市町村会館で市長会自治功労者表彰式が行われ、書家の高瀬霞山さん(稲吉東)が表彰を受けました。高瀬さんは書の醍醐味を伝えるとともに、生涯学習として地域コミュニティ活動の推進に大きく貢献された功績が認められての受賞。「今後も書を通して、地域の発展に貢献していきたい」と受賞の喜びを話してくれました。

↓割り勘オーナー会の高野昌史さん、坂本好高さん、大住岳志さん(左から)



被災地支援にキャンピングカーを市が活用

2月16日、千代田庁舎で割り勘オーナー会と市は「大規模災害時におけるキャンピングカーの優先貸与に関する協定」を締結しました。この協定により、市外での大規模災害発生時などに、職員を被災地派遣する際の活動拠点として無償で優先貸与できることから、機動性と利便性兼ね備えたキャンピングカーを活用した支援が行えます。